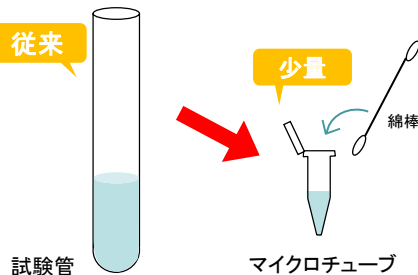


環境にやさしい実験

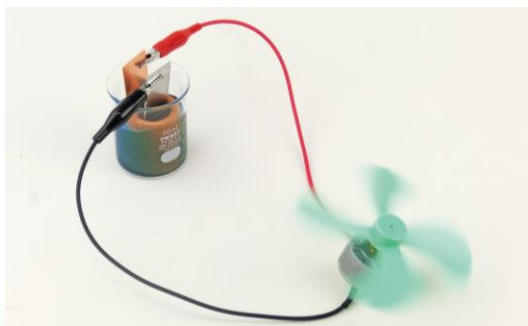
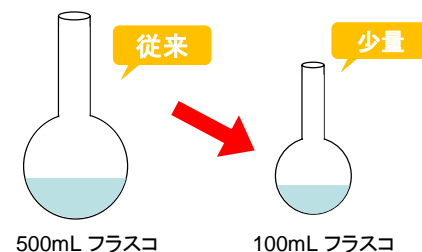
～少量の薬品で実験することで、廃液が少なく、試薬経費も削減でき、実験時間の短縮もできる～



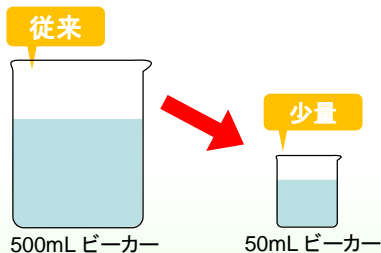
■だ液の実験 (マイクロチューブで実験)




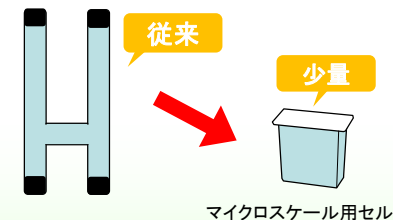
■アンモニア噴水実験 (100mLフラスコで実験)



■ダニエル電池 (50mLビーカーで実験)



■炭素棒を電極にした 塩化銅水溶液の電気分解 (容器サイズ: 1.5mL)



廃液はポリタンク等で管理し、
処理は専門業者に依頼しましょう



理科教育を支援する

公益社団法人 **日本理科教育振興協会**

TEL. 03-3294-0715 ホームページ <http://www.japse.or.jp>